

「はい、ペンションミルキーウェイです」

「あの、予約をお願いしたいんですけど、空き状況を教えてくださいいただけますか？」

「はい、ありがとうございます。お日にちはいつでしょうか？」

「来月二十二日の木曜日から二泊三日なんですけど・・・」

「何名様ですか？」

「四人です」

「四名様ですね。二十二日の木曜日でしたら、バス、トイレ付きのツインのお部屋を

ご用意できますが・・・」

「宿泊料はいくらですか？」

「現在、空いているお部屋は一泊朝食付きで一二〇〇〇円となります」

「では、予約をお願いします」

「ありがとうございます」

「夕食は付けてもらうことはできますか？」

「はい、ご用意できます。イタリア料理のコースになりますが、三種類ございまして、料金は二四〇〇円と三二〇〇円と四二〇〇円になっております」

「では四二〇〇円のコースでお願いします」

「かしこまりました。お食事に赤ワインか白ワインのボトルを一本サービスさせていただきます。ただいておりますが、どちらがよろしいですか？」

「赤ワインをお願いします」

「赤ワインですね、かしこまりました。それでは、お名前とご住所とお電話番号をお願いできますか？」

「中山正也(美代子)です。住所は横浜市中区山下町三一四十七、連絡先は〇七〇一二〇七四―四二九七です」

「確認させていただきます。お名前が中山正也(美代子)様、ご住所が横浜市中区山下町三一四十七、ご連絡先は〇七〇一二〇七四―四二九七ですね。宿泊日が三月二十二日から二十四日の二泊三日で、バス、トイレ付きのツインが二部屋。ご夕食は三八〇〇円のお料理で、お飲み物は赤ワインですね。ご夕食は六時半からとなっておりますので、その時間に間に合うようにお越し下さい」

「わかりました・・・それから、もし都合が悪くなつてキャンセルする場合、キャンセル料はかかりますか？」

「ご宿泊日の六日前からキャンセル料がかかります。六日前ですと宿泊料金の四十%、三日前が五十%、前日が八十%、当日になりますと全額いただくようになっておりますのであらかじめご了承下さい」

「はい、わかりました」

「それでは、ご予約日の一週間前には中山様宛にペンションのご案内と宿泊申込内容の詳細をお送りさせていただきます」

「わかりました。では、当日お世話になりますよろしくお願いします」

「はい、お待ちしております。ありがとうございます。失礼致します」